

## 令和2年(2020年)2月 青果部 主要品目の市況

種類	品名	市況の概要	2020年2月 数量 (トン)	2020年2月 平均単価 (円)	前年同月比 数量	前年同月比 平均単価
野菜	大根	千葉県産・神奈川県産中心の入荷でした。暖冬及び適度な降雨により、太物中心に順調な入荷となり、入荷量は増加しました。平均単価は安く推移しました。	647	64	118%	86%
	はくさい	茨城県産・群馬県産・和歌山県産・愛知県産・兵庫県産中心の入荷でした。暖冬の影響により各産地とも前進出荷となり、順調な入荷により入荷量はやや増加しました。平均単価はかなり高く推移しました。	507	58	108%	138%
	きゅうり	宮崎県産中心の入荷でした。順調な入荷により、入荷量はやや増加しました。平均単価は暖冬の影響と、サラダ需要の増加も加わり、平均単価はかなり高く推移しました。	266	465	106%	125%
	ほうれん草	茨城県産・群馬県産中心の入荷でした。暖冬の影響により、生育も良く、前進出荷傾向となったため、順調な入荷により、入荷量はやや増加しました。平均単価は安く推移しました。	101	397	104%	86%
	馬鈴薯	鹿児島県産の長雨の影響により収穫が遅れ、入荷は減少しましたが、北海道産の入荷が順調なため、入荷量はやや増加しました。平均単価はかなり安く推移しました。	375	83	109%	72%
果実	伊予柑	生産量が減少傾向なため、他市場からの集荷を行い、入荷はかなり増加しました。平均単価は安く推移しました。	232	207	124%	89%
	ふじ	生産地の在庫が前年の7割程度のため、入荷はやや減少しました。平均単価はかなり高く推移しました。	243	322	93%	122%
	いちご	福岡県産・栃木県産・群馬県産中心の入荷でした。2番果となり、一時的に出荷量が増加したことで、集中的な入荷に取り組み、入荷量は増加しました。平均単価はやや安く推移しました。	176	1,507	111%	94%

## 【増減基準】

- ①並み、横ばい：(+-)0~2%
- ②やや増加(減少)：(+-)3~10%
- ③増加(減少)：(+-)11~20%
- ④かなり増加(減少)：(+-)21~50%
- ⑤大幅に増加(減少)：(+-)51%以上